

## 関ヶ原の戦い前2か月 500通の書状による外交合戦

NHK 歴史探偵が調査の結果、戦前の2か月間に500通もの書状がやり取りされていた。それらをAIを使いデータベース化してみると….

### 外交戦術を駆使した家康

- ・最も多くの書状を出していたのは徳川家康で171通が確認されている。それに反して三成は13通で同様に東軍が圧倒的に多い。西軍に就いた武将にしてみれば、光成とのやり取りが残っているのは後々になってどのような不都合になるやもしれず、処分されたことも考えられる。
- ・三成の書状は2mもの長さの物があるなど、長々と心情を訴えている。これに反して家康は簡単に一緒に戦ってくれと要請している
- ・毛利輝元は三成から書状を受け取った7月15日に早くも行動を起こし、17日には大阪に到着した。ほんとにこれが可能なのか？ 歩きではなく舟を使ったと思われ小早舟でトライしてみた。結果、舟は7.1kmで移動が可能と判明、43~45時間で到着可能
- ・家康は真っ先に福島正則に行動することを要請、この時、福島正則は清須城にいた
- ・8月23日に岐阜城を落とす、これを見て多くの武将が家康に就いた
- ・黒田長政は南宮山の吉川へ「動かなければ毛利の領地は保障する」書状を送る。その返書に領地を減らされないことはありがたいとしており、口頭でもうまく伝えたいらしい
- ・総大将の毛利輝元は秀頼ともども大阪城を出なかった、もし出陣していたら戦局は変わっていたかも。輝元は様子見をしているときに四国や他へ兵を送って領地を広げていた
- ・西軍が破れたことで、毛利は戦のさ中に四国や他の地域で領地を広げていたことがバレて、領地を1/3に減らされてしまう

### 関ヶ原の西軍布陣は何故このようになったのか

- ・松尾山の小早川は、合戦前日に布陣していた大垣城主伊藤盛正を追い出して布陣した
- ・南宮山に吉川が布陣していたのに、東軍はやすやすと関ヶ原に軍を進めているのは何故か
- ・もともと西軍は戦いの前にこの布陣を決めていたのか？ 結果として鶴翼の陣になった？
- ・三成は14日夕に大垣城を出て関ヶ原に移動している。それも南宮山を迂回して関ヶ原に陣取ったという。→ 15日決戦からしても前々からの計画で、この布陣としたというには無理がある。そもそも、大垣城を出たのは東軍の進軍が予想に反して早かったので退却して態勢を整えようとした？
- ・家康の最初の陣桃配り山は、後ろに南宮山があって吉川・毛利・安国寺が布陣していたのに何故？ 挟み撃ちにされる危険な場所に陣を置くとはい考えられない
- ・膳所3万石の戸田氏○が残した戸田左門覚書では、福島正則が勝どきを挙げたら小早川軍が攻撃する手はずだったと記されている